

2013 年度「プログラミングC」学習達成度確認表（成績評価基準表）

	重要度	Cレベル（改善が必要）	Bレベル（もう少し努力）	Aレベル（目標達成）	Sレベル（素晴らしい）
Visual Studioの 基礎的な使い方	20%	資料を参照しながら、新しいプロジェクトを作成することができる。	作成したプロジェクトに対して、資料を参照しながら、ソースファイルを追加できる。	作成したソースファイルに対して、資料を参照しながら、ビルドと実行までの操作ができる。	資料を参照することなく、プロジェクト作成、ソースファイル追加、ビルドと実行までの手順を行うことができる。
プログラミング	25%	例題に沿って、ソースファイルを記述し、ビルドと実行までを滞りなく行うことができる。	例題に沿って記述したソースファイルにおいて、簡単な改良をした後、ビルドと実行までを滞りなく行うことができる。	例題に沿って記述したソースファイルにおいて、複雑な改良をした後、ビルドと実行までを滞りなく行うことができる。	例題を参考に、新たなソースファイルを自力で記述し、ビルドと実行までを滞りなく行うことができる。
変数の概念	15%	例題において、どれが変数かを指し示すことができる。	変数には型と識別子があることが理解できており、適切な型と識別子を用いて変数の宣言ができる。	変数への代入が理解できる。	入出力装置のインターフェースの特徴について、具体的に説明できる。
条件分岐構文	15%	例題において、どれが条件による分岐なのかを理解できる。	記述された条件が何を表わしているのかを理解できる。	条件分岐を自分で記述することができる。	複数の多分岐を自分で記述することができる。
繰り返し構文	15%	例題において、どれが繰り返しなのかを理解できる。	繰り返しの改良を行うことができる。	繰り返しを自分で記述することができる。	複数の繰り返しを自分で記述することができる。
配列	10%	配列と変数の違いが理解できる。	配列の宣言ができ、各要素の値を代入できる。	Bレベルの内容を、繰り返し構文を利用して表現することができる。	2次元配列を利用して、Aレベルと同等のことができる。